

本製品は485系300番台6両基本セット(品番**10-1128**)に含まれるクハ481のトレインマーク交換用オプションです。1つのトレインマーク変換装置に4コマのマークが入っており、合計16種類の列車名が用意されておりますので、裏面の編成例を参考に、お好みの列車名に交換してお楽しみください。

トレインマーク変換装置
485系300番台用
(国鉄・イラスト)

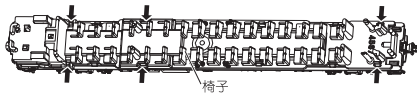
取り扱い説明書

- 交換方法
- 車両の分解

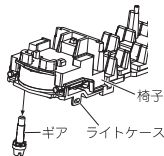


列車名の内容

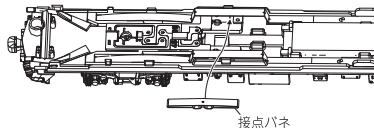
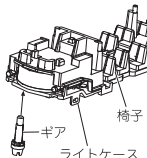
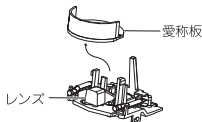
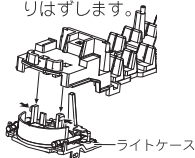
- ①ボディの中間連結面側台車付近を広げるようにして床下からはずします。
- ②床下を置いてから矢印部分のツメを押して、他の部品がはずれないよう慎重に床下から椅子をはずします。



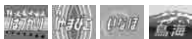
- ③床下から椅子をはずすと同時にギアがはずれますので無くさないよう注意してください。ライトケースが図のように椅子に付かず、床板に残る場合もあります。



- ④椅子にライトケースが付いてははずれた場合は、ライトケースのツメを押して、椅子から取りはずします。
- ⑤愛称板をはずして、お好みのトレインマークが入った愛称板に交換してください。はずす際レンズ等がはずれた場合は元の通り組み付けてください。
- ⑥愛称板を交換したライトケースを椅子に取り付け、③でははずれたギアを仮組みします。
- ⑦椅子をはずした際に床板から接点パネがはずれることがあるので、その場合はピンセットで接点パネを図の位置に戻してください。あとは逆の手順で車両を組み立てれば交換作業は完了です。



■編成例（1978年以降）



- はつかり 上野 ⇄ 青森（東北本線経由）
- やまびこ 上野 ⇄ 盛岡（東北本線経由）
- いなほ 上野 ⇄ 秋田・青森（上越・羽越線経由）
- 烏海 上野 ⇄ 青森（上越・羽越線経由）※昭和57年頃



- やまばと 上野 ⇄ 山形
- つばさ 上野 ⇄ 秋田（奥羽本線経由）※実車は1000番台



- あいづ 上野 ⇄ 会津若松
- やまばと 上野 ⇄ 山形
- つばさ 上野 ⇄ 秋田（奥羽本線経由）※実車は1000番台



- 加越 米原 ⇄ 金沢・富山
- 北越 金沢 ⇄ 新潟



- にちりん 博多・小倉 ⇄ 宮崎



- かもめ 小倉・博多 ⇄ 長崎
- 他にも様々な編成がございます。

- は6両基本セット（品番10-1128）
- は後期形 2両増結セット（品番10-1129）
- は初期形 2両増結セット（品番10-1130）
- は単品：サロ481後期形（品番4570）です。

- 時期・列車により、ボンネット形先頭車：クハ481-100（品番4550）が編成に組み込まれました。



株式会社 関水金属

〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-15